

地震 津波

地震・津波① 津波の浸水想定を確認する。

富士市津波避難マップや富士市防災アプリ等を見て、自宅が津波避難対象区域の内側にあるか外側にあるか確認し、「わたしの避難計画」にチェックを入れましょう。

地震による危険・・・富士市では、最大震度6弱から6強の揺れが想定されています。

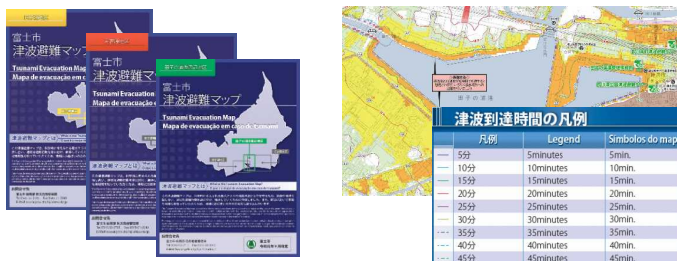
震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
大半の人が恐怖を覚え、物につかまらな いと歩きたいと感じる	物につかまらな いと歩きたいと感じる	立っていること が困難になる	這わないと動く ことができない	耐震性の高い木 造建物でも傾く ことがある

津波による危険・・・富士市では、沿岸部を中心に津波による浸水が想定されています。

<確認方法>

富士市津波避難マップや富士市防災アプリ等で、自宅の場所に色が付いている場合、またはバッファゾーンの内側の場合は、津波避難対象区域となります。

富士市津波避難マップ



地震・津波② 地震・津波が発生した時の避難先を確認し、記入する。

自宅が津波避難対象区域の内側の場合・・・㊦㊩㊪すべてを確認
自宅が津波避難対象区域の外側の場合・・・㊩㊪を確認

揺れが収まった
後の行動

- ㊦ 避難目標地点を「わたしの避難計画」の㊫に記入してください。
<確認方法> 避難目標地点は、「地震発生時の津波避難行動チェックシート」を参考に決めましょう。
- ㊩ 町内会・区の安否確認場所を「わたしの避難計画」の㊬に記入してください。
<確認方法> 安否確認場所は町内会・区ごとに決まっています。わからない場合は周囲の人に確認しましょう。

安否確認後の行動

- 自宅は土砂災害の危険性がある。 → はい → 自宅 (在宅避難)
 いいえ → 地震に備え、1週間分の水・食料・生活必需品の備蓄をしましょう！
- ㊪ 町内会・区ごとに市指定避難所へ避難しましょう。「わたしの避難計画」の㊭に指定避難所名を記入してください。
<確認方法> 富士市防災マップに町内会・区ごとの市指定避難所が掲載されているほか、富士市防災アプリ等からも確認できます。

富士市 わたしの避難計画 作成ガイド

わたしの避難計画とは

実際に災害が発生したとき（発生する前に）、自分や家族、地域の人と速やかに避難ができるよう、あらかじめ避難のタイミングや避難先等を整理しておくものです。

<見本>

わたしの避難計画 (富士市) 作成日 2025年9月11日

大雨 (河川氾濫・土砂災害)
 河川氾濫による危険 (いずれか1つに)
 ① 災害のリスクのある河川あり ② 災害のリスクのある河川なし
 ③ 河川名 避難のタイミング 避難場所 避難方法
 潤井川 高齢者等避難 仮設まちづくりセンター 自家用車で
 川 川 川

富士山噴火
 富士山火山噴火における避難行動について確認しよう。
 ④ 溶岩流 (いずれか1つに) ⑤ 影響のある流下パターン (該当するものに)
 ⑥ 第1次避難対象エリア ⑦ 第4次避難対象エリア
 ⑧ 第2次避難対象エリア ⑨ 第5次避難対象エリア
 ⑩ 第3次避難対象エリア ⑪ 第6次避難対象エリア
 ⑫ 避難対象エリア外 ⑬ 避難対象エリア外
 避難のタイミング 避難場所 避難方法
 噴火警戒レベル4 広見小学校 自家用車で
 噴火警戒レベル4 岩松中学校 自家用車で

地震・津波
 地震発生時の行動を確認し、安否確認場所、津波避難目標地点を確認しよう。
 ⑭ 避難先 (市指定避難所) ⑮ 元吉原中学校
 揺れが収まったら
 ⑯ 津波避難対象区域の内側 ⑰ 津波避難対象区域の外側
 ⑱ 津波避難目標地点 ⑲ 自主防災会の安否確認場所
 ⑳ ○○○○公会堂 ㉑ □□□公園
 ㉒ 土砂災害の危険あり ㉓ 土砂災害の危険なし
 自宅 (在宅避難) 地震に備え、1週間分の水・食料・生活必需品を備蓄しよう！

●情報収集手段 必ず見るものすべてに印を付けましょう ※作成ガイドp.1の<情報の入手先>を参考に記入してください。
 ① 富士市メールサービス ② 富士市公式LINEアカウント ③ 富士市防災アプリ「防災ふじ」 ④ ラジオエフ (FM84.4) ⑤ 静岡県防災アプリ ⑥ テレビ ㉔ ボタン

<情報の入手先>

市内の避難情報や避難所の状況

その他県内の情報等

富士市メールサービス

富士市公式LINEアカウント

富士市防災アプリ「防災ふじ」

ラジオエフ FM84.4MHz

Radio 84.4fm

静岡県防災アプリ

テレビ

㉔ ボタンで情報表示

富士市が配布するハザードマップはウェブサイトで見ることができます。

富士市 防災マップ



- ・富士市防災マップ
- ・富士市津波避難マップ
- ・逃げどきマップ (洪水)
- ・富士山火山防災マップ



はじめに 家族で避難に時間がかかる人がいるか確認する。

- ・家族で避難に時間がかかる人がいるかどうか確認しましょう。
- ・避難に支援が必要な人は、隣近所にあらかじめ支援について相談しておきましょう。

次のページに進んでください→

大雨① ハザードマップで自宅の危険を確認する。

逃げどきマップや富士市防災アプリ等で自宅に河川氾濫と土砂災害の危険がないかを確認し、「わたしの避難計画」の④・⑤にチェックを入れましょう。

河川氾濫による危険がある場所

(1) 家屋倒壊危険ゾーン

堤防が決壊するなどした場合に、一般的な建築物が倒壊・流出する危険性が高い区域を示すものです。

(2) 浸水想定区域（浸水深）

河川が氾濫した場合に浸水が予想される範囲を色で示しています。想定される浸水の深さで色が異なります。

<確認方法>

逃げどきマップや富士市防災アプリ等で自宅の場所に色が付いている場合、河川氾濫による危険がある場所となります。



土砂災害の危険がある場所

(1) 土砂災害警戒区域

がけ崩れ等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域です。

(2) 土砂災害特別警戒区域

がけ崩れ等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる土地の区域です。

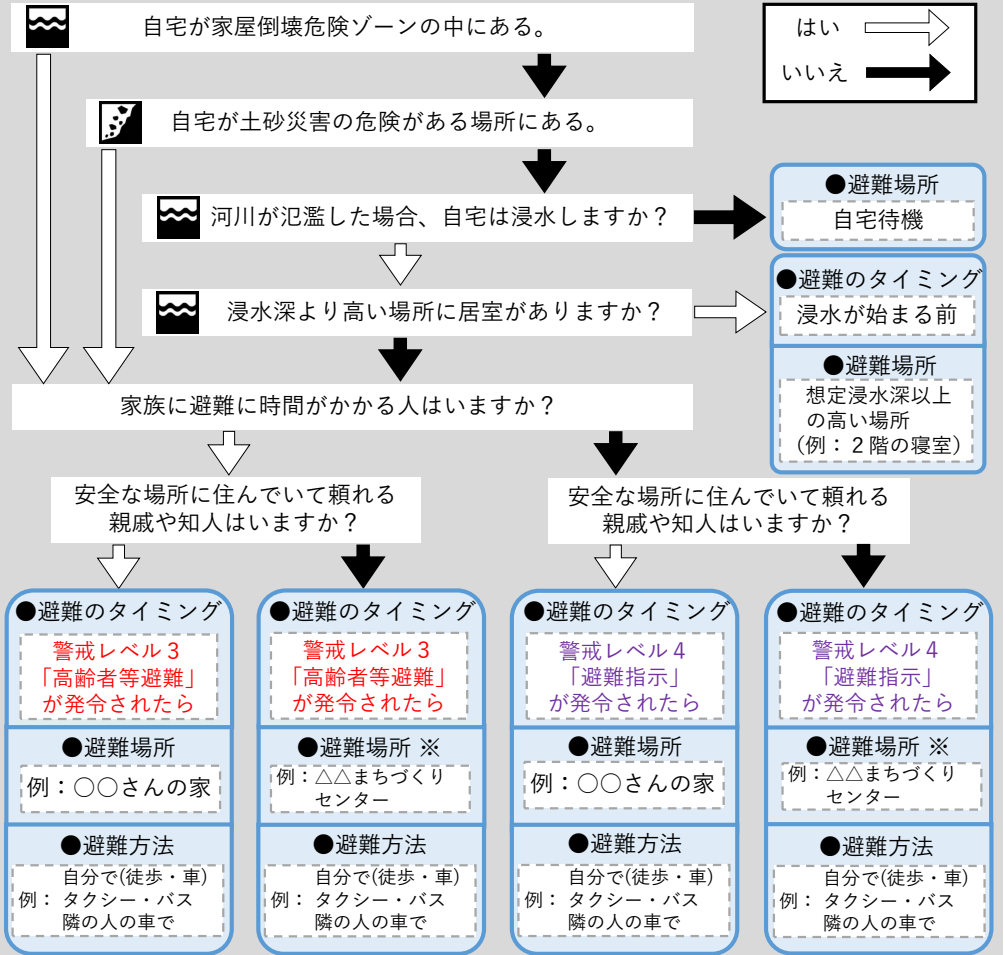
<確認方法>

富士市防災マップや富士市防災アプリ等で自宅の場所が黄色または赤い枠の中にある場合、土砂災害による危険がある場所となります。



大雨② 避難のタイミング、避難場所、避難方法を確認し、記入する。

p.3のフロー図を参考に、避難のタイミング・避難場所・避難方法を確認し、「わたしの避難計画」の⑥・⑦に記入しましょう。



※ 状況によって、開設される避難場所が変わる場合があります。



富士山火山

富士山火山 富士市富士山火山防災マップで自宅の危険を確認し、記入する。



<確認方法>

富士市富士山火山防災マップの「必ず確認！」欄を元に「わたしの避難計画」の⑧～⑩を記入しましょう。

富士市富士山火山防災マップ

